

# 議会だより ベツつかい

第 75 号  
2015  
11.1



別海町パイロットマラソンで活躍する別海高校ボランティア局員（関連記事20ページに掲載）

## 特集

災害に備える ..... 2

第3回定例会の内容 ..... 3  
災害復旧・子育て支援事業などに1億630万円（一般会計補正予算）  
討論の内容と採決の結果

町政のここが聞きたい ..... 6  
傍聴者インタビュー（鈴木さん・央戸さん）  
一般質問（大内・外山・木嶋・中村・小椋・瀧川・今西の7議員）

常任委員会の報告・議会のうごき ..... 14

シリーズ まちの宝物 別海高校ボランティア局 局長 3年C組 石田美希さん ..... 20





さい がい そな  
**災害に備える**



豪雨により決壊した道路



台風により電線にもたれかかる倒木

**最近の主な災害と被害状況**

8月10日に起こった豪雨災害では、総雨量158mm、時間最大雨量69mmという、これまで経験したことのない量の雨が降り、町内各地が被災しました。

近年の気象条件の変化からか、局地的な豪雨や暴風雪、高潮などによる被害が多くみられるようになってきました。自然の脅威の前で人は無力ですが、備えをしっかりとすることにより、被害を最小限にすることも可能です。今年の災害の傾向から、どのように備えたらよいかまとめてみました。

道路の決壊などが150カ所におよび、町内15路線で通行止めが発生しました。また、水道施設も管路や施設など7カ所が被災しました。10月に入り暴風雨と台風により2週続けて被災する事態が起きて

**備えあれば憂いなし 備えることの大切さ**

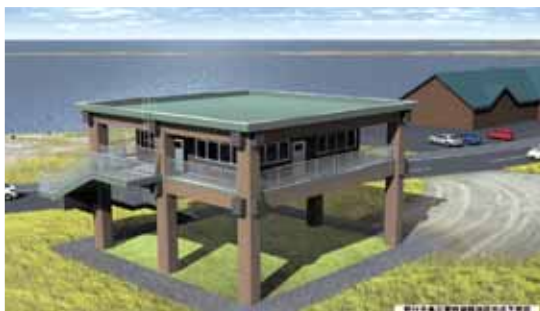
います。10月7日から8日にかけての台風では、海岸部で高潮による浸水被害が見られ、倒木や停電などが町内各地で起こりました。



ノーザンレスキューでヘリコプターに乗り込む住民

「災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災の基本方針とし、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視し、また経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせて災害に備えなければならぬ」としています。8月30日には、ノーザンレスキュー2015が実施され、行政と住民、陸上自衛隊の連携による大規模な防災

訓練が実施されました。これ以外にも毎年行なわれている連合町内会による避難訓練や、病院・介護施設といった各事業所における訓練など、火災に対する法定訓練も含め多くの訓練が行われています。人はいざという時に経験のない行動はとりにくく、こうした避難訓練の積み重ねにより、被害を最小限に食い止める「減災」が実現できると考えられます。災害に強い地域づくりには、住宅周囲の整



野付半島津波避難施設の完成予想図

理整頓、住宅や倉庫・車庫などの整備や補修など、普段から災害に対する備えが重要となります。また、地域にある危険個所の把握や避難経路の確認など、避難訓練の機会に、住民の皆さんで情報を共有したり確認することも大切であると考えます。家庭の中でも家具の固定や避難袋の準備、食料の備蓄、家族での話し合いなど、できることに取り組んでみてはいかがでしょうか。

**第3回  
定例会**  
9月8日～11日開催

第3回定例会は、9月8日から4日間の会期で開かれました。補正予算の内容と専決処分※および条例の改正と意見書の提出内容についてお伝えします。



**電算一般管理経費**

補正額959万円

マイナンバー制度※導入により、庁舎内の情報ネットワークなどのセキュリティを強化するための費用です。

※4ページで解説



**施設型給付事業経費**

補正額5,933万円

町内の私立幼稚園2園が認定こども園※に対応した給食設備などを設置するための助成となります。

※11ページで解説



**担い手プロジェクト事業**

補正額126万円(新規)

新規就農希望者を集めるための各種取組を準備する費用で、次年度から本格的に始動する予定です。



**野付半島散策路等補修事業**

補正額854万円(新規)

昨年12月の高潮被害の復旧として仮設した木道を、道が再建築することにあわせて撤去する費用です。

**平成27年度 補正予算概要**

	補正額	予算総額
一般会計	1億 630万円	168億5090万円
下水道特別会計	90万円	6億7360万円
介護保険特別会計	2490万円	11億3190万円
水道事業会計	1620万円	15億1557万円

**一般会計の主な補正(歳出)**

公共土木施設災害復旧事業	4,700万円新規
農業用施設災害復旧事業	200万円新規
公園施設災害復旧事業	110万円新規
本庁舎補修事業	153万円新規
庁舎内ネットワーク整備事業	772万円新規
社会保障・税番号制度システム整備事業	199万円新規
地域情報通信施設整備事業	359万円新規
介護施設等建設費補助事業	445万円新規
市民後見人養成事業	181万円新規
水沼徳一郎基金奨励金交付事業	30万円新規
担い手プロジェクト事業	126万円新規
野付半島散策路等補修事業	854万円新規
中央公民館整備事業	172万円新規
西公民館公用車導入事業	15万円新規
庁舎等維持管理経費	40万円増額
職員住宅維持管理経費	48万円増額
基金管理経費	10万円増額
電算一般管理経費	959万円増額
生活関連団体補助経費	20万円増額
監査運営経費	12万円増額
介護保険特別会計運営経費	219万円増額
施設型給付事業経費	5,933万円増額
墓地管理事業経費	66万円増額
未熟児養育医療経費	340万円増額
矢白別演習場周辺農業用施設設置助成事業	130万円増額
消費生活関連経費	20万円増額
用地管理事務経費	42万円増額
下水道事業特別会計運営経費	86万円増額
知事及び道議会議員選挙経費	△103万円減額
町長及び町議会選挙経費	△265万円減額
エゾシカ被害対策事業	△35万円減額
道営農道整備事業	△206万円減額

**下水道特別会計**

下水道処理場管理経費	45万円増額
漁業集落施設管理経費	45万円増額

**介護保険特別会計**

基金管理経費	1,627万円増額
交付金精算経費	862万円増額

**水道事業会計**

消費税及び地方消費税	△129万円減額
施設費	1,750万円増額

**専決処分を承認**

◆降雨災害復旧費の専決処分を承認

8月10・11日の大雨による被害の復旧費用として、5010万円が専決処分※されました。道路145件、農道5件、公園2件の復旧を行っています。

※専決処分

本来議会が決定する事項に関して、緊急の場合などに限り町長が代わって処理し、事後に報告する仕組み。

**工事請負契約の締結を承認**

◆西春別・上西春別小学校講堂天井耐震改修工事

簡易公募型指名競争入札により、みどり建工株式会社花落しました。契約金額は6197万円、工期は28年3月10日までです。

# 第3回 定例会

9月8日～11日開催

## 条例の改正

### ◆個人情報保護条例の一部を改正

マイナンバー制度※の実施にともない、国も管理することとなる、特定の個人情報の取り扱いを変更する改正内容となります。

国と市町村および関連団体が各々の所有する情報を保護し、包括的にセキュリティを確保する分散管理の体制となります。

### ◆別海町手数料条例の一部を改正

マイナンバー制度※の実施にともない、手数料条例の一部が変更されました。

特定の個人を識別するための情報を取り扱ったカードなどの再発行の費用が変更となっています。

### ※マイナンバー制度

社会保障・税番号制度のことで、国民一人ひとりが12桁の固有の番号を持ち様々な情報を横断的に管理・運営する仕組み。



いよいよ始まるマイナンバー制度

## 意見書が提出されました

### ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

(全会一致で承認)

提出者 沓澤 昌廣 議員  
他4名

本道の林業・木材産業は、基幹産業として地域経済の発展に大きく寄与してきました。今後、人工林が伐採

時期を迎える中、森林の公益的機能の維持増進や森林資源の循環利用に向けた取り組みが必要となります。

### ◆子供医療費無料化の制度と国庫負担削減の廃止を求める意見書

(全会一致で承認)

提出者 瀧川 榮子 議員  
他1名

現在、子ども医療費の一部は家族が負担することとなっています

が、中学校卒業までの医療費を所得制限無しで無料化する国の制度確立を求めます。また、独自に助成の拡大を行っている自治体に科している罰則をただちに中止することを求めます。

### ◆安保法案の今国会での成立にこだわることなく慎重審議を尽くすことを強く求める意見書

(賛成4名 反対11名)

提出者 中村 忠士 議員  
他2名

政府は安保関連法案の審議を簡略化し、国民への丁寧な説明や国会での徹底審議を避けて法改正を強行しようとしています。

集団的自衛権の行使を是とする前提自体が違憲との認識も強い状況です。

国民へさらなる説明と議論、専門家との意見交換を経て国会での

審議をよりいっそう慎重かつ丁寧に進めるよう強く求めます。

### 反対 西原 浩議員

日本国憲法第9条のもとで許容される自衛の措置として「武力行使」の新3要件が法制化され厳格に条件を制限しています。

国会の十分な審議を見守り、拙速な判断とならないように国会の審議を注視することが最良と考えます。

### 賛成 瀧川 榮子議員

世論調査によると反対および説明不足の割合が多数を占める中、政府はなぜこれほど法案の成立を急ぐのでしょうか。

今回の法案が日本国憲法前文に則り国民に幸福をもたらす内容なのででしょうか。

国民から託された執行権を持つ代表者に対し、納得できる慎重な審議を求めることは極めて重大なことです。

## 第2回臨時会（7月28日）

議案番号	目次
議案第63号	工事請負契約の締結について（上西春別中学校校舎防音改築建築主体工事）
議案第64号	工事請負契約の締結について（上西春別中学校校舎防音改築電気設備工事）
議案第65号	工事請負契約の締結について（上西春別中学校校舎防音改築機械設備工事）
議案第66号	工事請負契約の締結について（西春別・上風連・中西別中学校講堂天井耐震改修工事）
議案第67号	工事請負契約の締結について（野付半島災害時避難施設建設工事）
議案第68号	工事請負契約の締結について（尾岱沼地区排水処理施設機械設備工事）
議案第69号	財産の取得について（小型動力ポンプ付水槽車 10,000ℓ）
議案第70号	財産の取得について（小型動力ポンプ付水槽車 6,000ℓ）
議案第71号	財産の取得について（し尿収集車）

以上、全会一致で可決されました。

## 第3回定例会（9月8日～11日）

議案番号	目次
議案第72号	平成27年度別海町一般会計補正予算（第3号）※
議案第73号	平成27年度別海町下水道事業特別会計補正予算（第1号）※
議案第74号	平成27年度別海町介護保険特別会計補正予算（第1号）※
議案第75号	平成27年度別海町水道事業会計補正予算（第1号）※
議案第76号	別海町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第77号	別海町手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第84号	工事請負契約の締結について（西春別・上西春別小学校講堂天井耐震改修工事）
議案第85号	平成26年度別海町水道事業会計利益の処分について
承認第4号	専決処分した事件の承認について（平成27年度別海町一般会計補正予算（第2号）※）
報告第5号	専決処分の報告について（工事請負契約の一部変更について）
発議第8号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
発議第10号	子供医療費無料化の制度化と国庫負担削減の廃止を求める意見書

※補正予算のあとの号数は、年度当初から何回目の補正かを表わしている。

以上、全会一致で可決されました。

討論が行われた議案の採決結果		小 原 哲 也	外 山 浩 司	大 内 省 吾	木 嶋 悦 寛	松 壽 孝 雄	森 本 一 夫	今 西 和 雄	西 原 浩	沓 澤 昌 廣	小 林 敏 之	瀧 川 榮 子	戸 田 憲 悦	中 村 忠 士	渡 邊 政 吉	佐 藤 初 雄	松 原 政 勝	採 決 結 果
発議第9号	安保法案の今国会での成立にこだわる ことなく慎重審議を尽くすことを強く 求める意見書について	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	※	否

○原案賛成 ●原案反対 ※議長は可否同数の場合に決裁権がある

# 町政のことが聞きたい

第3回定例会では2日目(9月9日)に7議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

■ 大内 省吾 議員……………7

- 1 来季に向けての除雪体制の整備は

■ 外山 浩司 議員……………8

- 1 別海高校への補助拡大は
- 2 別海高校酪農経営科での牛の飼育実現に向けて

■ 木嶋 悦寛 議員……………9

- 1 障害者差別解消法施行に伴いどのように研修・啓発を進めるか

■ 中村 忠士 議員……………10

- 1 バイオガス発電会社の情報公開を
- 2 選挙年齢の引き下げにもなう対応は

■ 小椋 哲也 議員……………11

- 1 別海町の子育て環境の整備は

■ 瀧川 榮子 議員……………12

- 1 異常気象による公営住宅の不可抗力破損への対応は
- 2 日本国憲法の立憲主義に対する考えは

■ 今西 和雄 議員……………13

- 1 各関係機関との連携を密に後継者・担い手の確保に全力を
- 2 町政施行50周年は



詳しい議事録は町のホームページに掲載します。

別海町議会

検索

## 議会を傍聴された方にインタビュー

一般質問を傍聴に訪れた方にお話を伺いました。  
【お話を伺った方】鈴木麗子さん、宍戸清子さん

**広 報**… 傍聴された感想は？

**鈴 木**… 以前は商工会女性部として20年以上にわたって一般質問の傍聴にきていましたが、マンネリ化と質問や答弁が分かりづらく3年前から商工会女性部としての取り組みは中止していました。今回は新議員も入ったことや、議会が代わったということで個人的に来てみました。多くの議員が質問に立ち、内容も多様で、質問や答弁も明快で分かりやすく、質問者もしつこくなくてよかったと思います。

**宍 戸**… 私も長年、この一般質問を傍聴に来ていました。今回は実にわかりやすく、私たちにも理解できる内容でした。



鈴木麗子さん



宍戸清子さん

**広 報**… 議会だよりをお読みになってどんな感想をお持ちでしょうか

**鈴 木**… 読みやすい広報紙だとは思いますが、紙面のメリハリが無いと感じます。パッと見て、全部を読まなくてもある程度内容が分かるような作りしてほしいですね。

貴重なご意見をありがとうございました。

大内議員

# 来季に向けての 除雪体制の整備は

町長 除雪車輛の充実を含め  
体制を検討する

体制を検討する

の多くの声である。

質問  
昨年度の暴風雪対応を振り返り来季に向けて現状での民間を含めた除雪車輛の保有台数で充分と考えているか。

ロータリー除雪車の導入についてどのような検討をし配備しようとしているか。

特に別海の西部地域は、山並に近いこともあり、毎年のように大雪や地吹雪に悩まされている。スムーズな除雪のため西部地域へのロータリー除雪車の重点的配備が必要と考える。

宮越建設水道部長

導入配備については早期のライフライン確保を切望する住民の方々の多くの声である。

町有車12台、民間借り上げ82台、内9台は排雪用ダンプの併せて94台で対応したが、記録的な大雪となった昨年度は、除雪作業に大変苦慮した。例年の降雪においては除雪対応路線の通行はほぼ確保できている。



大内省吾議員

また既存の2台に加え新たにロータリー除雪車を購入した業者を加えると今年度より、3台体制となり作業効率の向上を期待している。



除雪作業中のロータリー除雪車

質問

除雪する区間が町内約1000km程度あるとすれば、2台や3台のロータリー除雪車で、とても足りないと考えます。

購入については今後予算面も含め準備していくことが大事と考えるが、

水沼町長

昨年度は今まで経験のないような記録的な豪雪となり、町民の皆様にも大変ご不便をかけた。

質問

町内各地の市街地には、身近な使いやすい排雪場所が意外に少ないと思う。

民有地でも空き地があれば町が借り上げる、あるいは税金を減免するなどにより、使いやすさもつと多くの雪捨て場を用意した方が良いのではないか。

宮越建設水道部長

今年度の対応は難しいが次年度以降、適当な用地が確保できれば検討したい。

今年度については工事で発生する土砂置き場としている町有地を冬期間の排雪場所として開放したい。

質問

町道・道道と町道の交差点付近の道路周辺に雪が山のように積まれたままとなり、交通事故や隠れた危険が懸念される。

特に国道は交通量も多いので道と町も連携して市街地の路側帯の排雪をまめにやるべきではないか。

また、各道路管理者間での情報の共有や対応など国・道・市・町とのきめ細かい連携が必要と思うが。

宮越建設水道部長

毎年降雪期を前に開発局・建設管理部および4町での「連絡調整会議」を行っているが今後その会議を通してより細かい確認・情報交換が出来るよう連携を強化していく。

質問

当町の除雪計画は、過去に広報などで知らせていた。しかし、ここ数年はないが、

水沼町長

町民の皆様には認識されていない状況であれば今後あらゆる機会や広報媒体を利用し、広く町民の皆様にはわかりやすくお知らせしていく。

外山浩司議員



## 別海高校への補助拡大を ～寄宿舍建設の取り組み状況について～

外山議員

質問

平成26年に別海高校普通科の入学者が80名を割り普通科が2学級となり、北海道教育委員会は27年度から2学級に決定した。

それを受け、町民集

### 教育長 今後検討していく

会の開催、署名活動など町民あげて3学級復活に向けて取り組んできた。

しかし、27年度の入学者も80名を割る結果となった。

今年度から、通学バスの支援、学習支援のeラーニング※の導入により保護者や生徒から大変好評である。

別海高校の良さを再確認してもらい、地元高校への進学率を高めることが重要だと考

える。入学の際に教科書、制服、指定ジャージ、生徒会費などの諸経費

#### ※eラーニング

インターネットなどを利用して、離れたところの教育を受けるしくみ。

別海高校では、札幌の大手予備校の授業を放課後・長期休業などの自由な時間に受けることができる。

で約11万円程度かかる。その一部を補助できないか。

また、部活動の地区大会までの補助拡大をできないか。

#### 真籠教育長

別海高校への支援については、拡充を行っている。生徒や保護者のアンケート調査を実施しニーズの把握もしている。

補助のあり方や有効性・必要性を含めて今後検討していく。

遠征費については、今年度から小中学生と同様に全道大会まで支援を拡大した。

地区大会参加の補助については、小中学生についても対象としていないことから、それらを含め今後検討していく。

質問

当町は、広大な地域であり通学に時間を費

やす生徒が多くいる。また、冬期間の交通事情などにより寄宿舍の建設が望まれるが取り組み状況は。

#### 中谷教育部長

公共交通機関が希薄な当町において、別海高校に進学しやすい環境を整えるためには、寄宿舍などを設置することが有効な手段と考

える。寄宿舍などの設置についてアンケート調査を実施しニーズの把握をしている。

設置する場合の形態、規模、管理、運営、家賃などについては、学校関係機関と協議していく。

#### 牛の飼育実現に向けて

質問

全道の酪農地帯の農業高校に牛舎があり、牛を飼育しながら後継者育成や関心のある生

徒の学習に適切な教材となつている。(計根別高校11頭、標茶高校・帯広農業高校各50頭)

別海酪農高等学校時代には牛舎があり学習を展開していたが、道立高校へ移行の際に飼育ができなくなった。

高校側では、北海道教育委員会へ牛舎建設と牛の飼育を要望しているが実現に至っていない。

町として高校とさらに連携を強化し、牛の飼育実現に向けての取り組みは。

#### 水沼町長

より良い実習を進めるためには、自校で施設を保有することが望ましいと考える。道立の農業高校は規模を縮小している傾向にあり、新たな施設の設置は難



作業に励む酪農経営科生徒の皆さん

しいのが現状である。現在、酪農経営科では、別海町酪農研修牧場における実習や酪農後継者を育てる会、農協などが協力し、町内酪農家での実習を行っている。

地域などと協力し、酪農実習ができることは、酪農の町ならではの感じている。

町としては、普通科の学級増への取り組みと合わせ、魅力ある酪農経営科のあり方についても高校と連携し、取り組んでいく。



木嶋議員  
障害者差別解消法施行に伴い  
どのように研修・啓発をすすめるか

町長 障がい者の暮らしづらさや、法律の趣旨などを理解するための広報や講座を行いたい

質問

来年4月1日から「障害者差別解消法」が施行される。

これは、障がい者に対する不当な取り扱いおよび、合理的配慮の不提供を差別と規定し、行政および事業者に対し差別の解消に向けた具体的取り組みを求めたものである。

市内の公共施設や観光施設など、障がい者あるいは高齢者などが安心して利用できるようバリアフリー化が必

要と考えるが。

宮越建設水道部長

これまでもバリアフリー法や関連法に基づき、段差を解消した歩道や多目的トイレ、車いす使用者用駐車スペースの整備などを進めてきた。

今後も関係法など、より広い視野から捉え、利用実態などを十分把握した上で、環境整備に努めたい。

質問

「広報べっかい」は、町のお知らせなど掲載する貴重な情報伝達手段だ。

あらゆる方に読んでいただけるよう、漢字へのルビ打ちや音声に

よる内容の伝達など、合理的な配慮が必要と考えるが。

竹中総務部長

ルビは打っていないが、漢字はおおむね常用漢字を使用し、それ以外はひらがなでの表記とし、字体も視認性・可読性に配慮している。

また、色覚異常を持つ方が紙面を見た場合を想定し、ソフトウェアによる疑似変換を行い、確認している。

ホームページなどで配布している「広報べっかい」は、パソコンなどでの拡大表示や読み上げ機能に対応のファイルとして公開している。

発行、発行に当たって取り得るべき対応は、積極的に取り組んでいく必要があると考える。

質問

今こそ、この地に義務教育段階の特別支援学校の分校・分教室の



車椅子やシニアカーを利用する人にとって、歩道の傾きや段差は深刻な問題だ  
利用者の立場に立ったインフラの整備が課題とされている

設置を進める必要があると考えるが。

真籠教育長

当町では、できるだけ通常学級との関わりを持ちながら特別支援を行っていく考えのもとで、各学校に特別支援学級を設置してきた。

また、今年度から早い段階で適時・適切な教育支援が受けられるよう、就学指導委員会から教育支援委員会に改め、特別支援に対し、

きめ細かく相談できる体制としている。

ただし、障がいの程度などから遠く離れた養護学校に通わなければならぬ家庭や、自宅で訪問教育を受けなければならぬ家庭もある。

その子の特性に合わせた手厚い教育を受けるためには身近に「特別支援学校」があることが理想であり、この地域の特別支援教育にとっては望ましいと考

える。

設置の必要性は十分認識しており、管内市町と連携を図りながら、働きかけていきたい。

質問

取り去るべき社会的障壁には人の理解や意識も大きく影響しているが、どのように研修や啓発を進めるのか。

水沼町長

行政職員には、意識向上を目的とした研修を実施し、障がい者の日頃の暮らしづらさを理解し、相談に乗れる職場づくりを進める。事業者には、商工会などと連携して自発的な研修を促したい。

町民一人ひとりが、障がい者の暮らしづらさや、法律の趣旨などを理解することが重要だと考える。障がい者の方が気兼ねなく相談できる体制づくりを目指したい。

木嶋悦寛議員



中村忠士議員



## 中村議員 バイオガス発電会社の情報公開を

町長 公開できるものは全て公開する

いた株式会社なので、すべての情報公開をすることはできない。ただ町も取締役を出しており、株主としての報告もされることから会社の了解を得たものは公表していく。

質問

会社は町も公金を使って出資している。町民が株主だ。

水沼町長

公開できるものは全て公開する。

質問

借入金金は12億2000万円という説明だったが、北洋銀行の資料では14億円の融資となっているが。

佐藤産業振興部長

事業参加農家との協議により消化液を70度に加温して殺菌することとしたため、追加工事により事業費が増額



7月から本格稼働となったバイオガス発電施設

となった。

これにより、融資額が1億8000万円増額の14億円になった。

質問

計画では処理量が1日285t（ふん尿280t・産業廃棄物5t）となっているが見とおしは。

佐藤産業振興部長

7月13日から31日までの実績では、ふん尿1日172tと報告を受けている。徐々に計画数量にしていく。

質問

計画からいうと6割だ。今後どうなるか不安だ。計画数量になるのはいつ頃か。

佐藤産業振興部長

機械の不具合をもちますものがあり、現機械の改良など検討中だ。9月末を目途に機械の調整をし、計画数量を受け入れる。

質問

機械の不具合とはどういうことか。

佐藤産業振興部長

堆肥について想定外の長いものや、硬いもの、また土の状態のものまで搬入されている。それに対応できる機械の整備を図りながら、9月末には計画数量にもっていききたい。

質問

産業廃棄物を1日5t受け入れることになっ

ている。産廃処理の許可申請中ということだが見とおしは。また、産業廃棄物はどこからもってくるのか。

佐藤産業振興部長

許可は9月中においてくる見込みだ。産業廃棄物についてはどこから持ってくるか確定していない。

質問

見通しをしっかりと立てる必要がある。

佐藤産業振興部長

会社からの報告に含まれていない内容なので回答を控えさせていただきます。

### 選挙年齢の引き下げにもなう対応は

質問

選挙法が変わり選挙年齢が18歳以上になった。若い人に選挙に関

心をもってもらう教育をどう進めるか。

真籠教育長

近い将来有権者となる若者に対する選挙の啓発運動は重要と考えている。

選挙管理委員会とも連携しながら選挙に関する体験学習や、政治に関心を持つための教育に取り組んでいく。

質問

昨年9月、期日前投票の投票所を町内複数箇所という提案をした。「実現に向け取り組んでいく」との答弁をいただいたが、検討の状況は。

佐藤選管書記長

先日、選挙管理委員会委員へ期日前投票所の複数設置に向けての検討事項（二重投票の防止、投票所の場所、開設時間）などの報告を行った。

質問

町民に、経営状況などの情報公開が十分行われる必要がある。

佐藤産業振興部長

バイオガス発電株式会社は、会社法に基づ

小椋議員

## 別海町の子育て環境の整備は

町長 子ども・子育て支援事業計画を基本として地域のニーズに合った子育て支援を充実

質問

認定こども園※は、これまでの保育園と幼稚園を、保育と幼児期教育の2つの役割を併せ持った施設に拡張するものであり、総合的に保護者に対する子育て支援を行う施設となる。

当町でも今年度より認定こども園※の動きが本格化しており、この仕組みが今後の別海町の子育て環境を大きく改善させる役割を担うものであると認識し

ている。

当町におけるこども園の認定状況および今後の計画・スケジュールについては、現段階で見込まれているものがあるか。

河嶋福祉部長

子ども・子育ての質・量の充実とともに、すべての子どもが健やかに成長できる社会の実現を目指し、昨年度策定した「別海町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認定こども園※への移行を進めている。

質問

(詳しいスケジュールは下記の表を参照)

当町は漁業から市街

小椋哲也議員



### 認定こども園への移行予定

年度	対象保育園・幼稚園
H27	くるみ幼稚園 愛光幼稚園
H28	野付幼稚園 中西別幼稚園 上西春別幼稚園 別海保育園 上西春別保育園
H29	中春別へき地保育園
H30以降	他のへき地保育園は児童数推移などの条件を考慮し順次移行を検討

地、酪農地帯と広いエリアに多様な業種の世帯が存在し、各地域により子育て環境はさまざまである。地域性を考慮した子

※認定こども園  
幼稚園と保育園のそれぞれの良いところを活かしながらその両方の役割を果たすことができる新たな施設である。

子どもたちの「教育」「保育」「子育て」を総合的にサポートしながら、「子育て相談」や「親子の集いの場」を保護者に提供していく。

育て支援の取り組みについて、現状と今後の方針は。



別海保育園の0～1歳児の給食風景

水沼町長

当町では、別海町子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、子育て支援に関するアンケートを実施し、二

ズに合った教育・保育の提供が行えるよう配慮している。ただし、アンケートは町内全域を対象に一元的に実施したため、地域単位の詳細を把握するには難しい点もあった。今後、地域単位でア



今年度認定こども園に移行した、くるみ幼稚園(左)と愛光幼稚園(右)

ンケート調査を行うなど保護者の要望を把握し、地域に合った保育時間や運営の形態を模索する。

子ども・子育て支援事業計画に基づき保育施設のあり方を含め、子育て支援の充実に努めていく。

質問

現在、具体的に各地域の保護者の意見や要望をくみ上げる仕組みや取り組みはあるか。

河嶋福祉部長

運営内容に変更がある場合には、施設ごとに説明会などを実施し、アンケートなどで意見のくみ取りを行っている。

また、各園から選出された委員で構成される保育園運営委員会を設置しており、保護者や保護者会から意見や要望が寄せられる仕組みになっている。

瀧川榮子議員



**異常気象による公営住宅の  
不可抗力破損への対応は**

建設水道部長 適切な管理での  
入居者責任は該当せず

説明されると認識している。  
異常気象時の大雪の場合、入居者による除雪への対応はどの程度必要と考えるか。

**質問**  
近年の異常気象で、雪が少ないとされていた道東でも暴風雪が例外でなくなつた。公営住宅は、基本的に入居者で協力し、除雪を行うよう入居時に

**宮越建設水道部長**

降雪量の多少にかかわらず、除雪を含む環境整備は入居する皆さんで対応していただく。記録的な降雪で、すっぽり住宅が埋まり、外に出られない危機的状況の場合、災害として、町営住宅にかかわらず、町を挙げ全力で対応する。

**質問**

入居者が除雪依頼をするには高額な費用がかかり、大雪でも雪解けを待つ状況がある。危機管理上2力所の出入り口が必要だが1力所が塞がれる状況が続くことがある。町として対応が必要と考える。

**宮越建設水道部長**

玄関・ベランダ側の除雪もそれぞれ入居者対応となる。町道から駐車場などの共用施設までを連絡する構内道路は入居者以外の通行もあり町が除雪している。

入居者のうち、高齢者や障がい者世帯などの要保護世帯については、福祉部が所管する「要保護世帯除雪事業」を紹介している。現在25世帯が対象となつている。

**質問**

自衛隊に要請するときの基準は。

**宮越建設水道部長**

災害と認知され、町にも本部を設置し、状



記録的な降雪で埋まった中春別公営住宅

況判断した後、対応となる。

**質問**

自然災害でのガラス破損は十分考えられる。ガラス破損は入所者責任でという書面が配布されているが、入居者が故意に破損したものでない場合の費用負担はどう考えるか。

**宮越建設水道部長**

入居者が適切な管理

を行つている中で、屋根からの落雪によるガラス破損の場合、入居者の責には該当せず、町負担で修繕すべきと考えている。

高齢者がたくさん入居しており、若い世代の皆さんには、配慮してほしいと促している。昨年は異常な大雪で、落雪による窓ガラス保護のため、合板の貸し出しを行つた。

貸し出しは一部であったため、今年度以降は広く周知していきたい。今後、相談の機会もあり、町の考え方や公営住宅の入居者としての責務を再度理解していただけるよう対応したいと考える。

**日本国憲法の立憲主義に対する考えは**

**質問**

1947年5月3日日本国憲法は施行され、国民主権がうたわれ、

戦争放棄が明記された。戦後70年どの国とも戦わない国として、世界の国々から称賛を浴びている。

今、政府が考える国の方向性を心配し、憲法を守れという運動が広がっている。

日本国憲法の中に貫かれる「立憲主義※」を守る必要があると考えるか。

**水沼町長**

国の最高規範である日本国憲法のもと、権力分立の原則に立つて政治が行われていくよう、「立憲主義※」が守られていくことは、重要なことであると考えている。

**※立憲主義**

権力保持者の一方的解釈によつてではなく、憲法に従つて権力が行使されるべきであるという政治の基本的姿勢をいう。

議員 各関係機関との連携を密に  
後継者・担い手の確保に全力を

町長 酪農家戸数の減少に  
危機感をもって全力で対応

質問

ここ数年、酪農・畜産経営を断念された方が、毎年2桁の戸数に上っている。

当町の基幹産業であり、食糧生産の一翼を担う町としても危惧する状況にある。後継者・担い手の確保は緊急の課題だ。その対策は。

水沼町長

平成16年に869戸の酪農家が、10年間で156戸減少し、71

3戸になった。

一方、新規就農者はこの5力年平均2・8戸に留まっている。

後継者・担い手不足は大きな課題と認識し、危機感をもって全力で対応していく。

後継者対策の一環として、「菊と緑の会」を主体に、継続して花嫁対策を行っていく。

また、新たな対策は農協を中心に関係機関と検討していく。

質問

町長は行政執行方針で、研修牧場を担い手確保の最前線にと示している。

平成9年から研修牧場で酪農研修生を受け入れ、多くの新規就農



来年新規就農する石井康・香純夫妻

者を送り出し、実績を残している。

しかし現在、研修生の確保に、大変苦慮していると聞いている。具体的な対応は。

佐藤産業振興部長

平成9年から今日まで84組の研修生を受け入れ、67組が新規就農している。

牛舎施設・住居建設など、研修の多様性を図ってきている。

研修生の安定的確保に向けては、東京・大阪での新農業人フェアに参加し宣伝活動を展開している。

今年度は、今まで以上に、町・農協・研修

牧場が連携し、すべての新農業人フェアと、新たに北海道新規就農・

農業体験市町村参加拡大セミナーにも出向き、研修生確保に全力で対応する。

合わせて、農協と連携を図り、高校・大学など訪問し、将来の担い手発掘にも取り組んで行く。

質問

その取り組みに、実働している新規就農者・若い後継者などの声を加えることも必要と考えるが。

水沼町長

指摘の点についても充分検討し、積極的に対応していく。

質問

農協・各関係機関と具体的な連携状況は。

佐藤産業振興部長

今年度、農政課内での検討内容をベースに、町・農業委員会・農協・普及センターで構成する「別海地域担い手育成総合支援協議会」を組織し、具体的に取り組んでいく。

町政施行50周年は

質問

当町は平成33年に町制施行50周年を、さらに後には開基150周年を向かえる。

まだまだ先の事と考へがちですが、大きな節目を意識しながら歩むべきと考える。

大別海町の歴史の1コマ1コマ



役場庁舎と町制施行30年誌

を、次世代にしっかりと残す考えは。

水沼町長

これまでも、当町の節目には、別海村小史・百年史・町制施行30年史などを発刊し、後世に残る貴重な歴史資料となっている。

町制施行50年・開基150年の節目に向け、余裕をもった対応をしていく。

# 各常任委員会のうごき

第2回定例会から第3回定例会の間に行われた各常任委員会の活動について概要をお知らせします。

## 総務文教 常任委員会

委員長 松壽 孝雄

### 地方版総合戦略の策定

国の人口減少対策5カ年計画（まち、ひと、しごと創生）に基づいて少子高齢化に対応し、人口減少の歯止め、安心して生活できる地域社会の多様な人材確保、就業の機会などの創出を推進するために、基本計画を策定します。

人口の将来展望を示す「地方人口ビジョン」を10月までに完成させます。さらに同ビジョンを踏まえ、人口減少と地域経済縮小を克服するため「地方版総合戦略」を戦略策定三組織（戦略会議、戦略委員会、検討推進委員会）で協議をします。また、町民へのパブリックコメント、議会への提示などを経て、

来年3月末までに、策定します。委員会では、人口減少は町にとって重要な問題であり、今後も調査を行います。



実証実験を行なっている光進テレワークセンター

### テレワーク実証実験 開始

日本マイクロソフトの社員6名と家族22名が8月24日～8月30日の間、旧光進小中学校をオフィスとして仕事を始めました。滞在は1週間程度で、地域住民との交流や道東の自然に触れる時間も持ちました。

9月以降も滞在型テレワークで実証実験を

継続して行い、複数回に分けて各社の社員とその家族が数多く訪れます。10月からは町民向けの各種研修会なども実施されます。委員会としては10月中旬にテレワークセンターの現地調査を行う予定です。

### 別海高校の学級増を目指した取り組み

町はこれまでの支援継続と共に、寄宿舎設置の検討を開始し、別海高校も特色ある学校づくりを実践していま

まず町による通学費全額助成や進学対策講習助成、部活動遠征費への支援が始まっています。

また、高校の魅力を伝えるための進学

説明会に校長と教頭が出向き、進学を控えた生徒や保護者に直接訴えていきます。

これまで行ってきた高校教員による少年団や中学校の部活動への指導協力が継続され、高校生による学習サポートは中央小学校から中央中学校に拡大実施します。

町と別海高校は情報共有しながら学級増に取り組んでいるとの報



校門横に設置された全国・全道大会出場応援看板

告を受けました。

### 社会保障、税番号制度 （マイナンバー制度）

※4ページで解説

平成27年10月から、住民票を持つすべての住民に、順次マイナンバーの通知を始めます。

28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きで利用開始され、希望者には個人番号カードの交付が行われます。（初回交付手数料は無料）

今後円滑な制度導入のための体制の整備業務見直し、システムの改修、個人情報安全管理措置、関連する条例制定および町民への周知などが求められます。

### テレビ北海道開局

工事は9月中旬から開始し、10月下旬試験電波をし、12月から視聴可能となります。

**福祉医療  
常任委員会**  
委員長 戸田 憲悦

**指定特定相談支援事業**

平成27年4月から、障害福祉サービス・障害児通所支援※を受けけるには、サービスなどの利用計画を作成し、市町村に提出することになりました。

計画は町が指定する事業者が本人などから聞き取りを行い作成します。

なお、計画作成利用者負担はありません。町内には障害児者相談支援事業所「相談室ーぷ」が開設されています。

**※障害児通所支援**  
児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援のこと。

**子ども子育て支援制度など**

認定こども園への移行は、平成29年度、別海・上西春別保育園。30年度、基準を満たした場合、西春別・上春別へき地保育園。

本別海へき地保育園の改築は、別海小・中学校の統合の影響で計画が見直され、本年9月発注、平成29年度完成となります。

**市民後見人制度**

平成12年度にスタートした「成年後見人制度」では、法定代理人による財産管理と生活支援の選任制度で、施行当初は、9割以上が親族の代理人でしたが、少子高齢化や専門職後見人不足などにより、利用困難な問題が表面化してきました。

このため、一般市民の中から一定の知識と倫理観を持った第三者

の後見人の育成が急務となりました。

これを受け、当町でも市民後見人を育成し、後見実施機関をとおして、利用を必要とする方に支援をするものです。

**特別養護老人ホーム**

総工費20億8千900万円で契約された工事が9月末完成に向け進められています。

当委員会は8月25日、進捗状況を現地視察しました。



11月にオープンする特別養護老人ホーム

昨年から今春にかけての異常気象で工事の遅れはありましたが、回復に努力し、11月開所に向けて進んでいます。

利用料については、数回の利用者説明会を開催し、社会福祉法人軽減や町の助成はありますが、1〜2割の負担増についてご理解をいただきました。

**国民健康保険法の改正**

平成27年5月に改正された「持続可能な医療保険制度を構築するための国保法の一部を改正する法律」により、都道府県が、国保財政の責任主体となり、市町村と共に国保運営に当たるといったものです。

平成27年5月に改正された「持続可能な医療保険制度を構築するための国保法の一部を改正する法律」により、

都道府県が、国保財政の責任主体となり、市町村と共に国保運営に当たるといったものです。保険給付に



特別養護老人ホームの所管事務調査（8月）

必要な費用は道から交付され、市町村は国保事業納付金を道に納付します。

標準的算定方式で保険料を提示し、市町村はそれを参考に保険料の決定と徴収、保険者証の交付を行います。国保給付に必要な費用が全額交付されるため一般会計からの赤字補填が要りません。予期せぬ給付増などでも財政安定化基金からの貸付・交付もあるということ、この制度は平成30年度から運営移行の計画です。

**産業建設  
常任委員会**

委員長 杏澤 昌廣

**野付半島トドワラ「仮木道」の設置状況**

昨年12月から今年の3月にかけて、台風並みに発達した爆弾低気圧が度々発生し、沿岸部に押し寄せた高潮の影響でトドワラ散策用の木道が全壊しています。観光シーズンに間に合うよう、今年6月に仮復旧しましたが、高潮に流されな強い強固な木道を北海道が本設置することとなりました。観光に影響が出ないよう、今年の観光シーズンが終わり次第、来年5月の完成を目指して工事が進められます。



6月7日に実施された野付半島清掃ボランティア

**トドワラ「アマモ」の打ち上げ被害と清掃状況**

高潮の影響で多量のアマモがトドワラに打ち上げられ、観光遊歩道を塞いだり、ハマナスなどの植物に覆いかぶさるなどの被害が発生しました。

各種団体や企業、ボランティアの協力もあり、清掃除去作業を進めていましたが、被害は広範囲に及んでおり、完全な除去は難しい状況です。

今後、植生への影響がないかなど経緯を見守る必要があります。

**野付半島漁業道路復旧状況**

野付半島の先端部に向かう漁業道路の一部が決壊する被害が発生していました。

被害を防ぐために設置している消波ブロックの終端に高潮が集中してしまい、道路の決壊に繋がっているようです。今後、被害を防ぐための技術的な研究と対策が求められます。なお、漁業道路は一本道であるため、万が一



漁業道路脇に備蓄された砂利

一同様の被害が発生しても即座に緊急対応が行えるよう、道路脇にあらかじめ補修用の砂利を備蓄してあります。

**べっかい乳業興社施設**

近年は安定した黒字経営となっており、べっかい乳業興社ですが、製造設備の老朽化が進んでおり、随時機器の更新が必要となっており、また、雇用条件の向上も必要となることから、売上の拡大とあわせて計画的な投資を行っていくようです。



老朽化が進む製造ラインの機器

**別海町酪農研修牧場  
担い手確保の現状**

平成9年度より始まった研修牧場による酪農研修生の受け入れですが、現在まで80組以上の新規就農者が営農を開始しています。

今年度は10組20名の研修生に加え、夏季休暇を利用した学生の酪農体験も実施し5名ほど受け入れていきます。

現在は研修生を探るのが年々難しくなってきた状況で、各農協や役場などが連携を取りながら、担い手対策を進めていく必要があります。



8月25日に実施された研修牧場の所管事務調査



**広報・広聴  
常任委員会**

委員長 木嶋 悦寛

今年度から常任委員会となり、委員も6名から7名となりました。これまで行ってきた議会だよりの作成に加え、広聴を担うこととなり、広く市民の皆さんの大切な声をお聴きする活動を進めています。

**議会だよりの発行**

第2回定例会後からこれまでの取り組みとして、議会だよりの発行を行いました。議会だよりは年4回発行されていて、主に定例会における議案や一般質問、委員会報告などを掲載しています。表紙のテーマは2年ごと(委員会の構成が2年ごと)に変わるため)

に検討されており、今期は「まちの宝物」として、このまちを支える様々な方々に登場していただきたいと考えています。

74号では別海祭りの子ども神輿を取り上げ、神輿をかつぐお子さんの笑顔が印象的だったと思います。

また、表紙の写真は裏表紙の写真と文に連なっていますので、ぜひ合わせてご覧ください。けたらと思います。

**議会広報研修会**

8月19日札幌で行われた議会広報研修会に参加しました。

議会広報研修会は議会の大切な部分を担う広報紙の編集技術向上を目的として、毎年開催されています。

今回は、グラフィックデザイナーの長岡光



クリニックでは1ページごとに細かくアドバイスを受けた

弘氏から、住民にわかりやすく読んでいただけるかを基本に、講義が進められました。また各町村で発行する広報紙のクリニックも同時に行われ、ベツカイ議会だよりの第73号について細かなアドバイスをいただきました。

**議会運営委員会**

委員長 西原 浩

議会運営委員会の調査権と審査権とは

議会運営委員会では、定例会の会期および会期日程、議事日程、説明員の出席要求、特別委員会の設置、一般質問、議案、請願や陳情などの取り扱い、議会の先例や運営などを調査しています。

報告会の内容などを検討しました。大きな変更点は、1班8人の2班編成で、議長班、副議長班とし、細やかに回る体制にしました。

**別海町議会活性化について検討**

改選前の議員定数等調査特別委員会で報告された議会活性化策を引き続き検討しています。

**2 議会モニター制度**

議会モニター制度により、別海町議会の運営に関し、市民からの要望、提言などを広く取り入れます。

その進捗状況を確認しやすくするために、平成27年、28年2力年の議会活性化策の工程表を作成しました。その中で特に協議が進んでいる2つの項目について報告します。

議会も積極的に市民の知恵を借りることで、議会のチェック機能や政策形成能力の向上を図ることを目的にしています。

**1 議会報告会**

開催趣旨、実施時期

平成28年4月からの実施に向けて要綱を整備しています。

# か ぎ かい 変わる議会

## 協働型の議会と自治のあり方



豊かな水量を誇る水源地

今回は別海町の水源地（標茶町虹別）で視察が行われました。前日の爆弾低気圧による暴風雨があつたにもかかわらず、透明な清流水に参加者一同感銘を受けていました。初めに別海町上水道事業の歩みが説明されました。

当町では昭和40年の高潮被害により本別海地区の井戸が冠水し飲料水の確保が困難となつたこと、昭和49年に設置され、摩周湖の伏流水が水源とされる西別川水系コトナイ川のの上流に位置します。国有林の深く豊かな森に囲まれ、流域に汚染などの発生原因となる施設がなく、また水温が年中7℃であるなど、水質的に恵まれた環境でありました。

次に昭和58年完成の浄水場を視察しました。水源地から自然流下により浄水場に運ばれた原水は、生きた魚による監視装置で水質が常



生きた魚により水質を監視する

に監視されており、万一の水質の変化に対応できる仕組みになっています。

1日平均配水量15413t、総配水管路約1086km、一部は根室市に供給されています。

今日の当町の産業の振興、住民福祉の向上に寄与している施設ですが、老朽化が著しく、施設の更新が望まれています。

当町の水源地となっている森林をしっかりと守り、次の世代に継承していかなければと痛感いたしました。

（佐藤議員）



道東地域の新議員が一堂に会する

本研修は主に道東地域の新任議員が参加し開催されました。議会にまつわる基礎的な知識の習得を目的とした研修が行われ、講師は北海道町村議会議長会事務局長の村川寛海氏が務めました。議会の役割や使命などの大きな目的から、会議の原則などルール、一般的な会議の進め方など実践的な内容となっていました。

### 森林・林業・林産業活性化促進 地方議員連盟の研修会 （10月2日 標茶町）

### 町村議会新任議員研修会 （7月23日 帯広市）

議会の運営は各々の議会の慣例や通例も影響してきますが、法に則った原理と原則を学ぶことで、今後の議会活動の礎を築くことができました。

主催団体である町村議会議長会の全国の状況や、他町村の議会の状況など、普段なかなか知ることのできない情報を得ることができました。

また、近隣町村の新任議員と接する機会もあり、今後の管内の地域活性化などについて議論し、交流を深めることができました。

今回の研修で得たことを活かし、別海町議会の更なる進展と共に、近隣町村との横の連携も深めていければと考えています。

（小椋議員）

か ち ほう  
**変わる地方**

議会が住民と共に創りあげる

**平成26年度 各会計決算審査特別委員会**

平成26年度一般会計・国保会計など8会計の決算内容を審査するため、各会計決算審査特別委員会が設置されました。

審査は10月から11月にかけて行われ、12月の定例会で全議員に報告され、認定について採決します。

決算委員会構成

委員長	松 壽 孝 雄
副委員長	今 西 和 雄
委員	佐 藤 初 雄
	渡 邊 政 吉
	瀧 川 榮 子
	外 山 浩 司
	小 椋 哲 也

**議会  
報告会**

**11月9日** 月曜

**13:00-15:00**

上風連地域センター

**15:00-17:00**

尾岱沼地域センターきらくる

**19:00-21:00** (2ヶ所同時開催)

別海町交流館ふらと  
西春別ふれあいセンター

本号の議会だよりを中心に  
報告会を開催します。  
皆さんぜひ来てくださいね。

別海町公認キャラクター  
別海りょうくん



## ボランティア活動をとおして

別海高校ボランティア局 局長 3年C組 <sup>い</sup>石田 <sup>み</sup>美希 さん



私たち別海高校ボランティア局は、3年生9人、2年生8人、1年生7人の計24人で活動しています。

主な活動は学校祭のチャリティーバザーの企画・運営、地域のお年寄りや障がいのある方々との交流、野付半島の草むしり、パイロットマラソンのお手伝いなどで、いろいろなボランティアを行っています。

ボランティア活動をとおして、私たちはたくさんのことを学んでいます。

たとえば、お年寄りや障がいのある方々との交流で、普段接することが少ないため、対応に困ることがたびたびあります。そんな時は働いている方々の言動や相手の表情などをよく観察しながら、適切な対応を自分たちで考え積極的に動くよう心がけています。

ボランティア活動で、普段の生活では学べないたくさん経験をし、成長することができます。

これからも精一杯頑張つて活動していきますので、応援をよろしくお願いたします。

## 編集後記



「災害は忘れた頃にやってくる。昨今は、災害は忘れないようにやってくる。年々深刻化してきた異常気象。

原因は色々考えられるが、人間のなりふりかまわさない、自然界へのご都合主義？

自然界が怒り心頭し、造反か？

この地球に一人も住めなくならないか！

百年、千年先を見据え、自然界と共存共栄をどう歩むか。  
(佐藤初雄委員)

実りの秋、秋アジにサンマ、地物野菜など地元ならではのおいしいものが、たくさん出ています。

これから迎える厳しい冬を乗り切るため、たくさん食べて体力を蓄え、元気に乗り切りましょう。  
(森本一夫委員)

冬支度が始まった牧草地は、2番草も刈られ、来年に向けて力を蓄える緑はともきれいです。

パイロットマラソンで完走者が大切に持ち帰るのは、別海に帰ってきた秋鮭。

冬を前に恒例の行事が一つひとつ終わり、庭先の小さな木々まで次の年への準備を始めています。

議会だよりも来年に向けていっそう読みやすい紙面づくりに向け、委員全員で取り組みます。

(瀧川榮子委員)

うがい、手洗い、しっかり食べて、みんなで防ごうインフルエンザ